

報道関係者各位

2017年3月24日

株式会社 毛髪クリニック リーブ21

シラカバに頭髪アンチエイジング効果を確認

加齢による頭髪の悩み「白髪と薄毛対策」に期待

～2017年3月24日(金)～27日(月) 日本薬学会第137年会にて発表～

株式会社 毛髪クリニック リーブ21(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:岡村勝正、以下リーブ21)は2017年3月24日(金)～27日(月)に仙台で開催される「日本薬学会第137年会」において、「シラカバ樹皮エキスによるメラニン産生促進および育毛作用」を発表いたします。

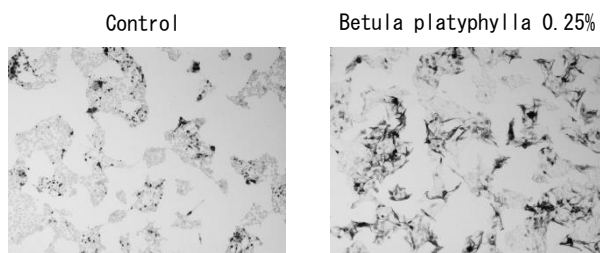
【研究概要】

近年、アンチエイジングへの関心が高まっており、頭髪の老化現象として知られる白髪や薄毛に対する予防・改善法の開発が望まれています。しかし現状は、利便性に優れ、効果もわかりやすいという観点から、染毛剤やウィッグなど一過性の対症法に依存するケースが多く、白髪や薄毛の問題を根本から解決するまでには至っておりません。そこで私達は、メラニン産生促進および育毛作用の評価試験をもとに、

頭髪の老化(薄毛・白髪)に対して予防・改善作用を有する天然薬用資源の探索を行いました。

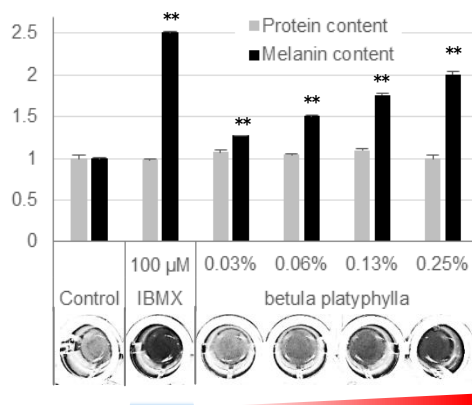
その結果、シラカバ(学名 *Betula platyphylla*)の樹皮から抽出したエキスに、色素細胞内メラニン産生の促進作用、毛乳頭細胞の増殖活性および5 α -リダクターゼの阻害作用を見出しました。これらのことから、シラカバは白髪や薄毛といった頭皮・頭髪の老化現象に対して多様なアンチエイジング効果を持つ有用な薬用資源である可能性が示唆されました。今後は、活性成分の同定および効果の因果関係を特定していく他、シラカバエキスを配合した商品開発を進める予定です。

【図1】 B16 色素細胞におけるメラニンの蓄積 ～顕微鏡による画像～



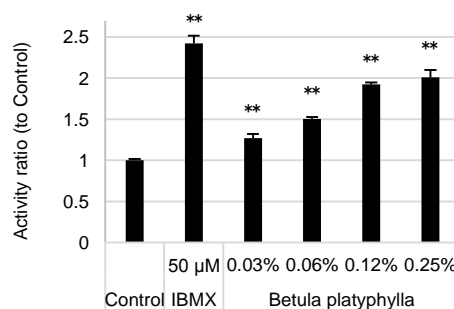
(図1) 細胞を顕微鏡下で観察すると、シラカバエキスを加えた細胞はメラニン(黒色)を多く包括している様子が観察されました。

【図2】 メラニン産生量の促進



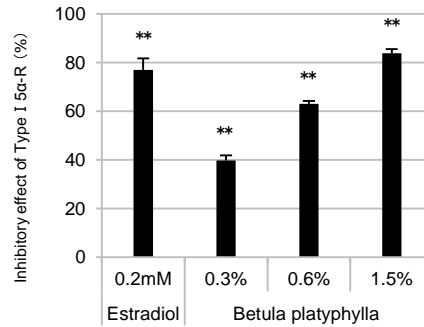
(図2) 細胞からメラニン色素を抽出したところ、シラカバエキスを加えた細胞ではエキスの濃度に伴ったメラニン量の増加が見られました。また、細胞のタンパク総量には差が無いことから、これらのメラニン増加は細胞の数によるものではなく、細胞あたりのメラニンの産生量に起因することがわかりました。

【図3】 チロシナーゼ活性の促進



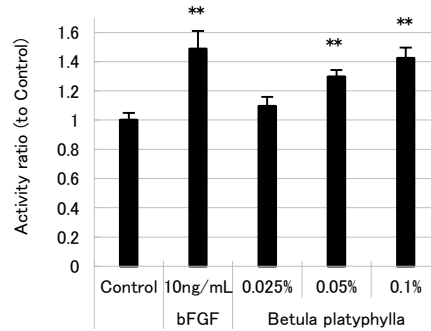
(図3) シラカバエキスを加えた細胞では、添加したエキスの濃度が濃くなるにつれてチロシナーゼ酵素の活性が高くなっていました。チロシナーゼはメラニン産生を調節する生体内酵素として重要な役割を担う酵素として知られています。

【図4】 5α -リダクターゼ活性の阻害（抗男性ホルモン作用）



（図4）シラカバエキスは陽性対象のエストラジオールと同じようにテストステロンに対するI型 5α -リダクターゼの酵素反応を阻害しました。

【図5】ヒト毛乳頭細胞の増殖活性



（図5）シラカバエキスを加えた毛乳頭細胞は、濃度が高くなるにつれて細胞の増殖活性が高くなり、活性値は最大で1.4倍まで上昇しました。

【本リリースに関する取材のお問い合わせ】

株式会社 毛髪クリニック リーブ21 広報部
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 3階
TEL : 03-3510-1321 FAX : 03-3510-1311 Email : kouhou@reve21.co.jp